

2026年6月7日(日)第1礼拝「しるしの意味」ヨハネ6章24～29節

多くの人々が癒しを体験して、イエス様のもとに集まってきました。その群衆を見て、イエス様は1人の少年のお弁当を通して五千人を満腹にさせ、その余りは十二のかごに一杯になりました。それらの人々はイエス様について来ましたが、イエス様のしるしの意味を理解していませんでした。そこで、イエス様はしるしの意味を教えてくださいました。

第一番目、永遠のいのちです。「なくなる食物のためではなく、いつまでも保ち、永遠のいのちに至る食物のために働きなさい。…」(本文27節) 永遠のいのちを持つとは、信じることです。「…あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」(本文29節) イエス様は「…わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことはありません。」と言われ、ご自分の血を飲むように言われました(ヨハネ6:35、53～58)。イエス様が与えられるパンを食べ、血を飲むとは、信じることです。イエス様の御言葉を信じることで、永遠のいのちが与えられるのです。

第二番目、あわれみです。あわれみと永遠のいのちは、因果関係にあります。神様のあわれみがあるから、私たちは永遠のいのちを受けることができるのです。イエス様は、あわれみのゆえに人々に食べ物を与えるように弟子たちに言われました。また、イエス様は、あわれみのゆえに人々を癒されました。「イエスは深くあわれみ、手を伸ばして、彼にさわって言われた。『わたしの心だ。きよくなれ。すると、すぐに、そのらい病が消えて、その人はきよくなった。』」(マルコ1:41～42) あわれみは英語で compassion と言い、com は一緒に、passion は苦難という意味です。イエス様は、私たちの痛みや苦しみを、深くあわれみ、一緒に担ってくださるお方です。このイエス様のあわれみを受けて、私たちも他の人をあわれむことが大切です。また、あわれみは恐れを消し去ります。「愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。…恐れには刑罰が伴っているからです。」(Iヨハネ4:18) あらゆるストレスや病気は恐れから来ますが、私たちはイエス様の愛とあわれみによって恐れや病気を締め出すことができるのです。

第三番目、あなたがたが与えなさい。弟子たちは「ここはへんぴな所です。時刻も遅くなり、お金もありません。」と言いました。イエス様はそう言った弟子たちを用いず、1人の少年の捧げたお弁当を祝福し、用いました。小さな少年のお弁当は増え続け、男性だけで五千人、約二万人の人々が皆満腹して、その余りは十二のかごに一杯になるという奇蹟が起こったのです。私たち日本のクリスチャンも少年のお弁当のようです。主が私たちを祝福されると、日本一千万人救霊のために用いられます。ヨセフは兄弟たちにいじめられましたが、かえって、その兄弟たちを祝福し、赦しました。ヨセフのあわれみのパンによってイスラエルは救われ、彼らを通してイエス・キリストが来られたのです。このように、自分にあるもの(自分の小さなお弁当)を主に捧げるなら、主が用いてくださいます。